

2026年度

アドヴァンスト・コース
募集要項

国立音楽大学

目 次

○アドヴァンスト・コースについて

○コースの応募と履修条件について

○募集要項

1. 声楽コース
2. オペラ・ソリスト・コース
3. 歌曲ソリスト・コース
4. ミュージカル・コース
5. ピアノ・コース
6. ピアノ指導コース
7. 鍵盤楽器ソリスト・コース
8. アンサンブル・ピアノ・コース
9. オルガン・コース
10. 弦管打楽器ソリスト・コース
11. 弦楽器オーケストラプレイヤー・コース
12. ジャズ・コース
13. 指揮者／コレペティートル・コース（指揮者）
指揮者／コレペティートル・コース（コレペティートル）
14. 現代音楽創作コース
15. 作曲理論コース
16. 実用音楽コース
17. 作曲コース
18. コミュニティ音楽コース
19. 吹奏楽指導者コース
20. 学校教育コース
21. ダルクローズ・リトミック専門コース
22. 音楽療法士コース
23. 音楽学コース

24. 音楽情報・社会コース

25. マネージメント・コース

26. 音楽データサイエンス・コース

27. 西洋古楽コース

28. 日本伝統音楽コース

29. ピアノ調律コース

30. 幼児音楽指導者コース

○演奏曲の提出について

（声楽コース、オペラ・ソリスト・コース・歌曲ソリスト・コース）

○アドヴァンスト・コース 課題曲一覧

アドヴァンスト・コースについて

本学では、3、4年次の学生に開かれている専門課程のコース科目を、卒業生にも開放して履修できるようにしています。この履修課程を「アドヴァンスト・コース」といいます。本学ではこれを「科目履修生」の制度として位置づけています。

アドヴァンスト・コースでは、以下のいずれかの履修を希望する場合が対象となります。

- (1) 本学卒業生で、在学中はコースを履修していなかったのに、卒業後に3、4年次の専門課程のコースを履修する。(別科調律専修修了生を含む)
 - (2) 本学卒業生で、在学中にコースを履修していたが、すべてのコース科目を取り終えることができなかったため、卒業後に残った科目を履修する。
 - (3) 本学以外の卒業生が、専門課程のコース科目を履修する。
- 大学を卒業後、さらに勉強を続けたい場合は、この制度を利用してください。

【履修に当たって】

- ① アドヴァンスト・コースの科目を履修するには、選抜試験に合格しなければなりません。合格した場合は、それぞれのコースで開講される科目(募集要項の「カリキュラム表」参照)をすべて履修する資格がありますが、その一部のみを履修することもできます。ただし、コース修了のためにはコース必修科目すべてを履修し、修了要件を満たす必要があります。
- ② 本学在学中に履修し、単位を取得した科目の再履修はできません。
- ③ アドヴァンスト・コースのコース必修科目すべてを履修し終えるためには最低2年間かかります(本学在学中にコースを履修していた学生はこの限りではない)が、科目履修生の制度では在籍期間は、4月より翌年3月末までの1ヶ年を原則としています。コースの修了を目指すため、2年目以降に同コースの継続を希望する場合には、年度ごとに初年度と同様の出願手続が必要です。1年目のコース必修科目の履修を終えていれば、2年目以降は原則として出願書類での書類選考のみとなります。
- ④ アドヴァンスト・コースの在籍期間は、4年を超えることはできません。
- ⑤ コースの応募と履修条件については、別紙を参考にして下さい。
- ⑥ 募集要項に記載の科目であっても、当該年度には開講されない場合があります。

◆在留資格に関する注意事項(外国人留学生の方は必ず確認をしてください)

- ・在留資格「留学」の外国人留学生が科目等履修生として在籍できる期間は、在留資格上の制約により、通算1年間(本学・他大学合わせて)とされております。(他大学での非正規生在留期間を含みます)
- ・外国人留学生の方が科目履修生で在留資格「留学」を取得するためには、前期・後期それぞれ、1週間に10時間以上(90分授業×7科目以上)の科目履修が必要となります。ただし、本学の科目履修生制度では、カリキュラムや授業時間の都合上、在留資格取得に必要な授業時間数を確保できない場合があります。

【履修費について】

アドヴァンスト・コースへ進むために必要な費用は、応募の際の出願料10,000円のほかに

1科目(半期)ごとに履修費が必要となります。

履修費は科目ごとに下記の3つのランクに分けられます。

2026年度 履修費ランク ()内は本学卒業生の金額。

A科目 145,000円(125,000円)

B科目 95,000円(75,000円)

C科目 70,000円(50,000円)

※履修費の納入は、後期分も含め全額前納(4月下旬の予定)とし、一旦納入された履修費は原則として返還しません。

※上記は2026年度の履修費です。変更される場合もありますので、予めご了承ください。

コースの応募と履修条件について

コースの応募にあたっては、第2希望まで併願できます。

合格後に履修できるコースは、原則として1つのコースですが、コースによっては他のコースとの同時履修を認めます。

コースの合格発表は、希望順を優先し、2つのコースの同時履修が認められる場合には、2つのコースとも合格とします。その場合でも、時間割の都合により、1つのコースしか履修できない可能性があります。

①次のコースは、他のコースとの同時履修はできません。

(いずれか1つのコースのみ合格となります。)

オペラ・ソリスト・コース、歌曲ソリスト・コース、ミュージカル・コース、
鍵盤楽器ソリスト・コース、アンサンブル・ピアノ・コース、
弦管打楽器ソリスト・コース、弦楽器オーケストラプレイヤー・コース、
音楽療法士コース、ピアノ調律コース

②次のコース同士の同時履修はできません。

ピアノ・コース ⇔ ピアノ指導コース

現代音楽創作コース ⇔ 作曲コース

マネジメント・コース ⇔ 音楽情報・社会コース

③次のグループの中からは、1コースしか履修できません。

(グループ以外のコースとの同時履修は可能です。)

コミュニティ音楽コース、吹奏楽指導者コース、学校教育コース、 ダルクローズ・リトミック専門コース

④次のコースについては他コースとの同時履修が可能ですが、履修科目数が多く、授業内容がハードである等が考えられるので、十分考えた上で履修して下さい。

ピアノ指導コース、ジャズ・コース、作曲コース、音楽学コース、
マネジメント・コース

⑤音楽療法士コースにおける「日本音楽療法学会認定音楽療法士の受験資格、及びコース修了認定」は、本学卒業生（平成16年度以降カリキュラム適用者）のみが得られます。

なお、本学卒業生で平成12年度以降カリキュラム適用者も受験資格を得られる場合があるので、該当者は教務課で確認をしてください。

それ以外の卒業生（本学以外の卒業生を含む）は、受験資格・コース修了認定は得られません。
科目履修（単位認定有）のみとなりますので、十分ご検討のうえ出願してください。

募 集 要 項

I・試験日程

- Web 出願期間： 2025 年 9 月 8 日(月)9:00～ 9 月 19 日(金)16:30 まで
※書類を郵送する場合は、上記期間内に必着。(提出期限に指定のある場合を除く)
- 試験日程発表： 2025 年 10 月 8 日(水) 10:00 頃、出願時にご登録のメールアドレスへ通知します。
- 試験実施期間： 2025 年 10 月 22 日(水) ～ 11 月 15 日(土)
※日祝および 10 月 30 日(木)～11 月 4 日(火)を除く
- 合 格 発 表： 2025 年 12 月 2 日(火)10:00 教務課掲示板
※合格者には、上記合格発表日に手続き書類を発送します。
※卒業見込みの者が卒業できなかった場合には、合格を取り消します。

II・出願手続

- ①出願料を下記の指定口座へお振込ください。

出 願 料： 10,000 円
振込先銀行： 三井住友銀行 国立支店
振込口座番号： 普通 5314859
振込先口座名： 学)国立音楽大学 ガク)クニタチオンガクダイガク

- ※お振込人名の前に「アドヴァンスト」とご入力ください。(例：アドヴァンスト クニタチ ハナコ)
※お振込時にかかる手数料はご自身でご負担いただきますようお願いいたします。
※振込金明細書、ATM 利用明細書、振込受付完了画面のデータ等は、出願提出書類とともにアップロード
が必要です。お手元にご準備ください。(アップロード方法は③参照)

- ② 出願料のお振込後、下記出願フォームより Web 出願登録をしてください。

▼2026 年度アドヴァンスト・コース 出願フォーム URL

<https://forms.gle/muAnYdDGV3y6UjGk6>

QR コード：



- ③ 提出書類データを、下記データ提出専用フォームよりアップロードしてください。

▼2026 年度 アドヴァンスト・コース データ提出専用フォーム URL

<https://forms.gle/fFZ1L6UJMjLASahA7>

QR コード：



【データでアップロードが必要な書類】 ★印は外国人留学生のみ

- ・顔写真データ：正面、上半身、無背景、顔がはっきりと映っているもの
- ・振込金明細書、ATM 利用明細書、振込金額が明記された振込受付完了画面のデータなど振込を証明できる書類のスキャンデータ
- ・卒業証明書(学士の学位が分かるもの)または卒業見込証明書のスキャンデータ (2025 年度 本学学部卒業見込生はアップロード不要です)
- ・出願期間内に提出する必要がある作品等の提出物データ(該当コースのみ)
- ★パスポートのコピー：外国人留学生のみ
- ★在留カードのコピー(両面)：外国人留学生のみ
- ★日本語能力試験(JLPT) N2 以上の成績証明書、または日本留学試験(EJU)の日本語の点数を証明するもの：外国人留学生のみ

※日本語能力試験(JLPT)については、原則として当該年度の第 1 回試験までに N2 以上に合格している方を前提としていますが、当該年度の第 2 回試験を受験する等の理由により出願時に「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」を提出できない場合には、必ず事前に教務課へメールで相談してください。

【データのアップロードの際の注意点】

- ・データのアップロードには Google アカウントが必要です。(Google アカウントの作成方法詳細についてはお答えしかねます。)
- ・Google アカウントの作成ができない方、またアカウントをお持ちの方でもデータのアップロードが難しい場合には、必要書類を郵送またはメールでお送りください。

- 郵送で提出の場合の送付先 (郵送料金は各自ご負担ください)

〒190-8520 東京都立川市柏町 5-5-1 国立音楽大学教務課 アドヴァンスト・コース

- メールで提出の場合 メールアドレス：kcm-kyoumu@kunitachi.ac.jp

※メール送信の際、メールの件名は「アドヴァンスト・コース出願データ」とし、本文に「氏名」「出願コース」を明記してください。また、送信データのファイル名にも氏名を明記してください。

アドヴァンスト・コース 募集要項

1 声楽コース

教育目標 歌曲、オペラ、オラトリオ、重唱の基本的な歌唱方法を学び、ディクシオンなど
声楽の専門的知識と技術を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 コ ー ス 最 低 単 位 数	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	歌曲演習Ⅰ	B	2				8	いずれか1種類を選択必修
	歌曲演習Ⅱ	B		2				
	オペラ演習Ⅰ	B			2			
	オペラ演習Ⅱ	B				2		
	アンサンブル(歌曲・オラトリオ)演習Ⅰ	B			2			
	アンサンブル(歌曲・オラトリオ)演習Ⅱ	B				2		
	オペラ史A	C	2				4	いずれか4単位を選択必修
	オペラ史B	C	2					
	宗教音楽史A	C	2					
	宗教音楽史B	C	2					
	歌曲史A	C	2					
	歌曲史B	C	2					
	声楽実技AⅠ	A	1				4	45分の個人レッスン
	声楽実技AⅡ	A		1				
	声楽実技AⅢ	A			1			
	声楽実技AⅣ	A				1		
	イタリア語ディクシオンⅠ	B	2				4	いずれか1種類を選択必修 歌曲演習と同じ言語(日本語を除く)を履修すること
	イタリア語ディクシオンⅡ	B		2				
	ドイツ語ディクシオンⅠ	B	2					
	ドイツ語ディクシオンⅡ	B		2				
	フランス語ディクシオンⅠ	B	2					
	フランス語ディクシオンⅡ	B		2				
コ ー ス 推 奨	歌曲作品研究A	B	2					1セメスターに1科目のみ履修
	歌曲作品研究B	B	2					
	歌曲作品研究C	B	2					
	歌曲作品研究D	B	2					
	合唱Ⅴ	C	2					履修を許可された者のみ履修可
	合唱Ⅵ	C		2				
	合唱Ⅶ	C			2			
	合唱Ⅷ	C				2		
	イタリア語ディクシオンⅢ	B			2			
	イタリア語ディクシオンⅣ	B				2		
	ドイツ語ディクシオンⅢ	B			2			
	ドイツ語ディクシオンⅣ	B				2		
	身体表現A	B	1					
	身体表現B	B	1					

募集人数 若干名

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目及び課題曲 声楽演奏試験
歌曲1曲(4分以内)

※「演奏曲の提出について」参照

※ 伴奏者は各自が用意すること。

※ 出願時、声楽コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

アドヴァンスト・コース 募集要項

2 オペラ・ソリスト・コース

教育目標 オペラ歌手となるために必要な歌唱能力や舞台表現等、基本的な知識を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 コ ー ス 単 位 最 低	備 考					
			第 1	第 2	第 3	第 4							
コ ー ス 必 修	レパートリー研究Ⅰ	B	2				8	45分の個人レッスン					
	レパートリー研究Ⅱ	B		2									
	レパートリー研究Ⅲ	B			2								
	レパートリー研究Ⅳ	B				2							
	オペラ史A	C	2				4		30分の個人レッスン 本学声楽専修卒業生は選択科目				
	オペラ史B	C	2										
	オペラ特別演習Ⅰ	A	2				8			イタリア語、ドイツ語はⅣまで、 フランス語はⅡまで1ヶ国語選択必修			
	オペラ特別演習Ⅱ	A		2									
	オペラ特別演習Ⅲ	A			2								
	オペラ特別演習Ⅳ	A				2							
	声楽特別演習Ⅰ	A	2				8						
	声楽特別演習Ⅱ	A		2									
	声楽特別演習Ⅲ	A			2								
	声楽特別演習Ⅳ	A				2							
	声楽実技BⅠ	B	1				4(0)						
	声楽実技BⅡ	B		1									
	声楽実技BⅢ	B			1								
	声楽実技BⅣ	B				1							
	イタリア語／ドイツ語／フランス語ディクシオン	B	2	2	2	2	8(4)						
	身体表現A	B	1				4						
	身体表現B	B	1										
	身体表現C	B			1								
	身体表現D	B			1								
コ ー ス 推 奨	合唱Ⅴ	C	2				履修を許可された者のみ履修可						
	合唱Ⅵ	C		2									
	合唱Ⅶ	C			2								
	合唱Ⅷ	C				2							
	宗教入門A	C	2										
	宗教入門B	C	2										
	西洋宗教史A	C	2										
	西洋宗教史B	C	2										

募集人数

若干名

出願資格

原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目
及び
課題曲

声楽演奏試験
オペラのアリア2曲（モーツァルトのアリアを含むこと）。
原語・原調を原則とする。曲間を含めて8分以内。途中で切ることがある。
※アルトでモーツァルトの適当なオペラのない場合は、グルック作曲のオペラ
「オルフェオとエウリディーチェ」よりオルフェオのアリアでもよい。

※「演奏曲の提出について」参照

※ 伴奏者は各自が用意すること。

※ 出願時、オペラ・ソリスト・コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「オペラ特別演習Ⅳ」の評価A以上

アドヴァンスト・コース 募集要項

3 歌曲ソリスト・コース

教育目標 歌曲やオラトリオを歌うために必要な歌唱能力、詩の解釈、ことばへの豊かな感性を磨き、基本的な知識を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 コ ー ス 単 位 最 数 低	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	歌曲作品研究A	B	2				12	1セメスターに1科目のみ履修
	歌曲作品研究B	B	2					
	歌曲作品研究C	B	2					
	歌曲作品研究D	B	2					
	アンサンブル(歌曲・オラトリオ)特別演習Ⅰ	B	2					
	アンサンブル(歌曲・オラトリオ)特別演習Ⅱ	B		2				
	宗教音楽史A	C	2				4	いずれか4単位を選択必修
	宗教音楽史B	C	2					
	歌曲史A	C	2					
	歌曲史B	C	2					
	声楽特別演習Ⅰ	A	2				8	45分の個人レッスン
	声楽特別演習Ⅱ	A		2				
	声楽特別演習Ⅲ	A			2			
	声楽特別演習Ⅳ	A				2		
	声楽実技BⅠ	B	1				4(0)	30分の個人レッスン 本学声楽専修卒業生は選択科目
	声楽実技BⅡ	B		1				
	声楽実技BⅢ	B			1			
	声楽実技BⅣ	B				1		
	イタリア語／ドイツ語／フランス語ディクシオン	B	2	2	2	2	8(4)	イタリア語、ドイツ語はⅣまで、 フランス語はⅡまで1ヶ国語選択必修
コ ー ス 推 奨	オペラ演習Ⅰ	B			2			アンサンブル(歌曲・オラトリオ) 特別演習Ⅱ修得者のみ履修可 いずれか1種類を選択
	オペラ演習Ⅱ	B				2		
	アンサンブル(歌曲・オラトリオ)演習Ⅰ	B			2			
	アンサンブル(歌曲・オラトリオ)演習Ⅱ	B				2		
	身体表現A	B	1					
	身体表現B	B	1					
	身体表現C	B			1			
	身体表現D	B			1			
	合唱Ⅴ	C	2					
	合唱Ⅵ	C		2				
	合唱Ⅶ	C			2			
	合唱Ⅷ	C				2		
	宗教入門A	C	2					履修を許可された者のみ履修可
	宗教入門B	C	2					
	西洋宗教史A	C	2					
	西洋宗教史B	C	2					

募集人数 若干名

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目及び課題曲 声楽演奏試験
ミサ、オラトリオ、カンタータ等の独唱曲1曲及び歌曲1曲を原語で歌うこと。
曲間を含めて8分以内。途中で切ることがある。

※「演奏曲の提出について」参照

※ 伴奏者は各自が用意すること。

※ 出願時、歌曲ソリスト・コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「声楽特別演習Ⅳ」の評価A以上

アドヴァンスト・コース 募集要項

4 ミュージカル・コース

教育目標 ミュージカルの舞台に必要な歌唱、演技、ダンスを含む身体表現の基本的な技術と方法を学ぶことで、自己表現能力を身に付ける。
ミュージカル製作の協働活動を通じてコミュニケーション力を養い、他人を思いやり、社会に貢献できる人材を育成する。

募集人数 若干名

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目
及び
課題曲

オーディション:
・課題曲(下記参照)から1曲。
・自由曲1曲。(ミュージカルナンバーより。課題曲から選曲可《課題曲で既に選んだ曲を除く》)
・原語、または日本語で2曲とも暗譜で歌う。(移調可)
・当日指定された箇所を歌う。(演奏をカットすることがある)
・伴奏者は各自が用意すること。
・歌唱後に簡単なインタビューとステップ審査あり。
・演奏曲の楽譜を当日ご持参ください。

課題曲(女声):
・If I Loved You(回転木馬)
・Sound of Music(サウンド・オブ・ミュージック)
・Think of me(オペラ座の怪人)
・Memory(キャッツ)
・I could have danced All Night(マイ・フェア・レディ)
・I feel pretty(ウエストサイド物語)
・Climb Every Mountain(サウンド・オブ・ミュージック)
・Wishing You Were Somehow Here Again(オペラ座の怪人)
・A Change in Me(美女と野獣)

課題曲(男声):
・Maria(ウエストサイド物語)
・Stars(レ・ミゼラブル)
・Bring him home(レ・ミゼラブル)
・Music of the night(オペラ座の怪人)
・Some enchanted evening(南太平洋)
・Something’s coming(ウエストサイド物語)
・Superstar(ジーザス・クライスト・スーパースター)
・This is The Moment(ジキル&ハイド)
・Out There(ノートルダムの鐘)
・On The Street Where You Live(マイ・フェア・レディ)
・If I Can’t Love Her(美女と野獣)

※出願時、ミュージカル・コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 最 低	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	ミュージカル演習Ⅰ	B	2				8	週3コマ
	ミュージカル演習Ⅱ	B		2				
	ミュージカル演習Ⅲ	B			2			
	ミュージカル演習Ⅳ	B				2		
	ジャズダンスAⅠ	B	1				4	
	ジャズダンスAⅡ	B		1				
	ジャズダンスBⅠ	B			1			
	ジャズダンスBⅡ	B				1		
	演劇Ⅰ	B	1				4	
	演劇Ⅱ	B		1				
	演劇Ⅲ	B			1			
	演劇Ⅳ	B				1		
	ミュージカル講座	C	2				10	
	リズムヴォーカルⅠ	B	1					
	リズムヴォーカルⅡ	B			1			
	英語ディクシオンⅠ	B	2					
	英語ディクシオンⅡ	B	2					
	身体表現A	B	1					
	身体表現B	B	1					
	声楽実技BⅠ	B	1					
コ ー ス 推 奨	基礎演劇Ⅰ	B	1				4(0)	30分の個人レッスン 本学声楽専修卒業生は 選択科目
	基礎演劇Ⅱ	B		1				
	シアターダンスⅠ	B			1			
	シアターダンスⅡ	B				1		
	ミュージカル概論	C	2					
	ボディーテクニクⅠ	B	1					
	ボディーテクニクⅡ	B		1				
	身体表現C	B			1			
	身体表現D	B			1			

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

アドヴァンスト・コース 募集要項

5 ピアノ・コース

教育目標 ピアノの基本的能力を高め、ピアノデュオ、作品分析、ピアノ・リテラチュアを通じて豊かな表現力や専門的知識を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 コ ー ス 単 位 最 低	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	ピアノデュオ演習A	B	2				8	45分の個人レッスン 本学鍵盤楽器(ピアノ)専修卒業生は 選択科目
	ピアノデュオ演習B	B	2					
	ピアノデュオ演習C	B			2			
	ピアノデュオ演習D	B			2			
	ピアノ実技AⅠ	A	1				4(0)	
	ピアノ実技AⅡ	A		1				
	ピアノ実技AⅢ	A			1			
	ピアノ実技AⅣ	A				1		
	鍵盤楽器作品分析Ⅰ	B	2				8	
	鍵盤楽器作品分析Ⅱ	B		2				
	ピアノ・リテラチュアⅠ	B	2					
	ピアノ・リテラチュアⅡ	B		2				
コ ー ス 推 奨	ピアノコンチェルト演習A	B	2					
	ピアノコンチェルト演習B	B		2				
	ピアノコンチェルト演習C	B			2			
	ピアノコンチェルト演習D	B				2		
	現代音楽入門Ⅰ	B	2					
	現代音楽入門Ⅱ	B		2				
	選択ソルフェージュEⅠ	B	1					
	選択ソルフェージュEⅡ	B		1				
	鍵盤音楽史A	C	2					
	鍵盤音楽史B	C	2					
	オルガン基礎講座	C	2					
	チェンバロ基礎講座	C	2					
	リトミックⅠ	B	1					
	リトミックⅡ	B		1				
	ボディーテクニックⅠ	B	1					
	ボディーテクニックⅡ	B		1				

募集人数 欠単によるコース未修了者のみ

出願資格 現在ピアノ・コースに在籍している者。(継続者のみ募集)

試験科目及び課題曲 継続者のみ募集のため、書類審査のみ

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

アドヴァンスト・コース 募集要項

6 ピアノ指導コース

教育目標 教材研究や子供への指導実習を通して、質の高いピアノ指導者のための知識や技術を実践的にかつ体系的に学ぶ。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 最 低	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	ピアノ指導研究Ⅰ	B	2				8	45分の個人レッスン 本学鍵盤楽器(ピアノ)専修卒業生は 選択科目
	ピアノ指導研究Ⅱ	B		2				
	ピアノ指導研究Ⅲ	B			2			
	ピアノ指導研究Ⅳ	B				2		
	ピアノ教材研究Ⅰ	C	2				8	
	ピアノ教材研究Ⅱ	C		2				
	ピアノ教育論Ⅰ	C	2					
	ピアノ教育論Ⅱ	C		2				
	ピアノ実技AⅠ	A	1				4(0)	
	ピアノ実技AⅡ	A		1				
	ピアノ実技AⅢ	A			1			
	ピアノ実技AⅣ	A				1		
	ピアノ指導法	B	2				2	
コ ー ス 推 奨	鍵盤楽器講義(ピアノ教材研究概論)	B	2					
	鍵盤楽器作品分析Ⅰ	B	2					
	鍵盤楽器作品分析Ⅱ	B		2				
	ピアノ・リテラチュアⅠ	B	2					
	ピアノ・リテラチュアⅡ	B		2				
	ピアノ指導研究入門	B	2					
	選択ソルフェージュEⅠ	B	1					
	選択ソルフェージュEⅡ	B		1				
	リトミックⅠ	B	1					
	リトミックⅡ	B		1				
	ボディーテクニックⅠ	B	1					
	ボディーテクニックⅡ	B		1				
	子どもの発達と心理	C	2					
	青年の発達と心理	C	2					

募集人数 欠単によるコース未修了者のみ

出願資格 現在ピアノ指導コースに在籍している者。(継続者のみ募集)

**試験科目
及び
課題曲** 継続者のみ募集のため、書類審査のみ

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「ピアノ指導研究Ⅳ」の評価B以上

アドヴァンスト・コース 募集要項

7 鍵盤楽器ソリスト・コース

教育目標 鍵盤楽器のソリストにふさわしいレパートリーの拡大と豊かな音楽表現を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 最 低	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	作曲家と作品分析Ⅰ	B	2				8	45分の個人レッスン 本学鍵盤楽器(ピアノ)専修卒業生は 選択科目
	作曲家と作品分析Ⅱ	B		2				
	作曲家と作品分析Ⅲ	B			2			
	作曲家と作品分析Ⅳ	B				2		
	ピアノ特別演習Ⅰ	A	2				8	
	ピアノ特別演習Ⅱ	A		2				
	ピアノ特別演習Ⅲ	A			2			
	ピアノ特別演習Ⅳ	A				2		
	ピアノ実技AⅠ	A	1				4(0)	
	ピアノ実技AⅡ	A		1				
	ピアノ実技AⅢ	A			1			
	ピアノ実技AⅣ	A				1		
	鍵盤楽器作品分析Ⅰ	B	2				8	
	鍵盤楽器作品分析Ⅱ	B		2				
	現代音楽入門Ⅰ	B	2					
	現代音楽入門Ⅱ	B		2				
コ ー ス 推 奨	室内楽A	B	2					
	室内楽B	B		2				
	室内楽C	B			2			
	室内楽D	B				2		
	選択ソルフェージュⅠ	B	1					
	選択ソルフェージュⅡ	B		1				
	ピアノコンチェルト演習A	B	2					
	ピアノコンチェルト演習B	B		2				
	ピアノコンチェルト演習C	B			2			
	ピアノコンチェルト演習D	B				2		
	鍵盤音楽史A	C	2					
	鍵盤音楽史B	C	2					

募集人数	欠単によるコース未修了者のみ
出願資格	現在鍵盤楽器ソリスト・コースに在籍している者。(継続者のみ募集)
試験科目 及び 課題曲	継続者のみ募集のため、書類審査のみ

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「ピアノ特別演習Ⅳ」の評価A以上

アドヴァンスト・コース 募集要項

8 アンサンブル・ピアノ・コース

教育目標 アンサンブル奏者としての基礎を学び、豊かな表現力を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 最 数 低	備 考	
			第 1	第 2	第 3	第 4			
コ ー ス 必 修	アンサンブルレッスンⅠ	B	2				8	45分の個人レッスン 本学鍵盤楽器(ピアノ)専修卒業生は 選択科目	
	アンサンブルレッスンⅡ	B		2					
	アンサンブルレッスンⅢ	B			2				
	アンサンブルレッスンⅣ	B				2			
	アンサンブル演習Ⅰ	A	2				8		
	アンサンブル演習Ⅱ	A		2					
	アンサンブル演習Ⅲ	A			2				
	アンサンブル演習Ⅳ	A				2			
	ピアノ実技AⅠ	A	1				4(0)		
	ピアノ実技AⅡ	A		1					
	ピアノ実技AⅢ	A			1				
	ピアノ実技AⅣ	A				1			
	室内楽作品研究A	B	2				6		いずれか6単位を選択必修
	室内楽作品研究B	B	2						
	管楽器作品研究	B	2						
	弦楽器作品研究	B	2						
	歌曲作品研究A	B	2						
	歌曲作品研究B	B	2						
	歌曲作品研究C	B	2						
	歌曲作品研究D	B	2						
	イタリア語／ドイツ語／フランス語ディクシオンⅠ	B	2				2(4) ※		イタリア語・ドイツ語・フランス語の いずれか1ヶ国語を選択
	イタリア語／ドイツ語／フランス語ディクシオンⅡ	B		2					
	管弦楽法CⅠ	B	1						
	管弦楽法CⅡ	B		1					
	コ ー ス 推 奨	室内楽A	B	2					グループレッスン
		室内楽B	B		2				
室内楽C		B			2				
室内楽D		B				2			
選択ソルフェージュEⅠ		B	1						
選択ソルフェージュEⅡ		B		1					
弦管打実技BⅠ		B	1						
弦管打実技BⅡ		B		1					
弦管打実技BⅢ		B			1				
弦管打実技BⅣ		B				1			

※ ディクシ

募集人数	欠単によるコース未修了者のみ
出願資格	現在アンサンブル・ピアノ・コースに在籍している者。(継続者のみ募集)
試験科目 及び 課題曲	継続者のみ募集のため、書類審査のみ

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「アンサンブルレッスンⅣ」の評価A以上

アドヴァンスト・コース 募集要項

9 オルガン・コース

教育目標 オルガンの構造と特性を理解すると共に、異なる時代と国(地域)のオルガン音楽様式、オルガン演奏法を身に付ける。また作品に応じた音色の選び方「レジストレーション＝音栓法」に至るまでの幅広い知識を習得する。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 コ ー ス 単 位 最 低 数	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	オルガン研究Ⅰ	B	2				8	いずれか4単位を選択必修 45分の個人レッスン
	オルガン研究Ⅱ	B		2				
	オルガン研究Ⅲ	B			2			
	オルガン研究Ⅳ	B				2		
	鍵盤音楽史A	C	2				4	
	鍵盤音楽史B	C	2					
	西洋古楽研究A	C	2					
	西洋古楽研究B	C	2					
	オルガン実技Ⅰ	A	1				4	
	オルガン実技Ⅱ	A		1				
	オルガン実技Ⅲ	A			1			
	オルガン実技Ⅳ	A				1		
	厳格対位法Ⅰ	B	1				2	
	厳格対位法Ⅱ	B		1				
コ ー ス 推 奨	選択ソルフェージュEⅠ	B	1					
	選択ソルフェージュEⅡ	B		1				
	チェンバロ基礎講座	C	2					
	指揮法研究Ⅰ	B	1					
	指揮法研究Ⅱ	B		1				
	指揮法研究Ⅲ	B			1			
	指揮法研究Ⅳ	B				1		
	西洋古楽表現(チェンバロ)Ⅰ	B	1					
	西洋古楽表現(チェンバロ)Ⅱ	B		1				
	西洋古楽表現(チェンバロ)Ⅲ	B			1			
	西洋古楽表現(チェンバロ)Ⅳ	B				1		
	宗教入門A	C	2					
	宗教入門B	C	2					
	西洋宗教史A	C	2					
	西洋宗教史B	C	2					

募集人数	若干名
出願資格	原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。
試験科目 及び 課題曲	(1) ピアノ又はオルガンでの演奏試験 J.S.Bach 1. 2声のインヴェンション 2. 3声のシンフォニア 3. 平均律クラヴィーア曲集第1巻、第2巻より任意のプレリュードとフーガ 4. 任意のオルガン作品 上記より1曲選択し、1～3はピアノで、4はオルガンで演奏する。 暗譜の必要はない。 (2) 面接 ※出願時、オルガン・コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。
【備考】	履修費の他、オルガン練習室使用料がかかります。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

アドヴァンスト・コース 募集要項

10 弦管打楽器ソリスト・コース

教育目標 コンチェルトをはじめとするさまざまなジャンルの演奏技術、解釈を学び、それぞれの楽器のソリストに必要なレパートリーを身に付け、各種オーディション、コンクールに入賞する演奏能力を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 最 低	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	管弦楽A		2				0(8)	履修を許可された者のみ履修可
	管弦楽B			2				
	管弦楽C				2			
	管弦楽D					2		
	管弦楽特別演習A		2					
	管弦楽特別演習B			2				
	管弦楽特別演習C				2			
	管弦楽特別演習D					2		
	弦管打特別演習Ⅰ	A	2				8	45分の個人レッスン
	弦管打特別演習Ⅱ	A		2				
	弦管打特別演習Ⅲ	A			2			
	弦管打特別演習Ⅳ	A				2		
	弦管打実技AⅠ	B	1				4(0)	本学弦管打楽器専修卒業生は選択科目 23分の個人レッスン
	弦管打実技AⅡ	B		1				
	弦管打実技AⅢ	B			1			
	弦管打実技AⅣ	B				1		
	管弦楽法BⅠ	B	1				2	
	管弦楽法BⅡ	B		1				
コ ー ス 推 奨	吹奏楽A	B	2					弦楽器のみ履修可
	吹奏楽B	B		2				
	吹奏楽C	B			2			
	吹奏楽D	B				2		
	室内楽A	B	2					
	室内楽B	B		2				
	室内楽C	B			2			
	室内楽D	B				2		
	室内楽作品研究A	B	2					
	室内楽作品研究B	B	2					
	弦楽器作品研究	B	2					
	管楽器作品研究	B	2					
	上級アンサンブルA	B	2					
	上級アンサンブルB	B		2				
	上級アンサンブルC	B			2			
	上級アンサンブルD	B				2		
	室内楽史A	C	2					
	室内楽史B	C	2					
	管弦楽史A	C	2					
	管弦楽史B	C	2					
	オーケストラ・スタディⅠ	B	2					
	オーケストラ・スタディⅡ	B		2				
	オーケストラ・スタディⅢ	B			2			
	オーケストラ・スタディⅣ	B				2		

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「弦管打特別演習Ⅳ」の評価A以上

募集人数 若干名

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目
及び
課題曲 演奏試験
「課題曲一覧表」参照

※ 出願時、弦管打楽器ソリスト・コースを履修している者は、
原則として書類審査のみとする。

アドヴァンスト・コース 募集要項

11 弦楽器オーケストラプレイヤー・コース

教育目標 個人レッスンによりオーケストラ・スタディを学び、オーケストラのオーディションに合格する演奏能力を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 数 値	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	管弦楽A		2				8	履修を許可された者のみ履修可
	管弦楽B			2				
	管弦楽C				2			
	管弦楽D					2		
	管弦楽特別演習A		2					
	管弦楽特別演習B			2				
	管弦楽特別演習C				2			
	管弦楽特別演習D					2		
	弦楽器オーケストラプレイヤー演習Ⅰ	B	1				4	オーケストラ・スタディ (半期5回・45分の個人レッスン)
	弦楽器オーケストラプレイヤー演習Ⅱ	B		1				
	弦楽器オーケストラプレイヤー演習Ⅲ	B			1			
	弦楽器オーケストラプレイヤー演習Ⅳ	B				1		
	弦管打実技AⅠ	B	1				4 (0)	23分の個人レッスン 本学弦管打楽器専修(弦楽器)卒業生は 選択科目
	弦管打実技AⅡ	B		1				
	弦管打実技AⅢ	B			1			
	弦管打実技AⅣ	B				1		
	管弦楽法BⅠ	B	1				2	
	管弦楽法BⅡ	B		1				
コ ー ス 推 奨	吹奏楽A	B	2					コントラバス、ハープ履修可
	吹奏楽B	B		2				
	吹奏楽C	B			2			
	吹奏楽D	B				2		
	管弦楽Ⅰ		2					未履修者のみ
	管弦楽Ⅱ			2				
	管弦楽Ⅲ				2			
	管弦楽Ⅳ					2		
	管弦楽特別演習Ⅰ		2					履修を許可された者のみ履修可
	管弦楽特別演習Ⅱ			2				
	管弦楽特別演習Ⅲ				2			
	管弦楽特別演習Ⅳ					2		
	室内楽A	B	2					
	室内楽B	B		2				
	室内楽C	B			2			
	室内楽D	B				2		
	室内楽作品研究A	B	2					
	室内楽作品研究B	B	2					
	弦楽器作品研究	B	2					
	上級アンサンブルA	B	2					
	上級アンサンブルB	B		2				
	上級アンサンブルC	B			2			
	上級アンサンブルD	B				2		
	オーケストラ・スタディⅠ	B	2					
	オーケストラ・スタディⅡ	B		2				
	オーケストラ・スタディⅢ	B			2			
	オーケストラ・スタディⅣ	B				2		
	室内楽史A	C	2					
	室内楽史B	C	2					
	管弦楽史A	C	2					
	管弦楽史B	C	2					

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「弦楽器オーケストラプレイヤー演習Ⅳ」の評価A以上

募集人数

若干名

出願資格

原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目
及び
課題曲

試験科目：演奏試験

- ・伴奏はピアノ伴奏のみとし、伴奏者は応募者が同伴すること。
- ・楽章の指定のないものは、その曲の全楽章を演奏すること。
但し、試験当日に演奏楽章を指定したり、演奏を中断することもある。
- ・暗譜は任意とする。

課題曲

- 【ヴァイオリン】
モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第3番K.216、第4番K.218、第5番K.219
の何れか任意の第1楽章(カデンツァ無し)
- 【ヴィオラ】
F.A.ホフマイスター：ヴィオラ協奏曲ニ長調、C.シュターミッツ：ヴィオラ協奏曲
ニ長調op.1の何れか任意の第1楽章(カデンツァ無し)
- 【チェロ】
ハイドン：チェロ協奏曲第1番ハ長調から第1楽章(カデンツァ無し)
- 【コントラバス】
任意の自由曲
- 【ハープ】
任意の自由曲

※出願時、弦楽器オーケストラプレイヤー・コースを履修している者は、
原則として書類審査のみとする。

アドヴァンスト・コース 募集要項

12 ジャズ・コース

教育目標 ジャズ演奏のための基礎知識を学び、実践を通して演奏力を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 最 低 数	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	ジャズ実技Ⅰ	A	1				4	45分のレッスン
	ジャズ実技Ⅱ	A		1				
	ジャズ実技Ⅲ	A			1			
	ジャズ実技Ⅳ	A				1		
	即興演奏Ⅰ	B	1				4	
	即興演奏Ⅱ	B		1				
	即興演奏Ⅲ	B			1			
	即興演奏Ⅳ	B				1		
	ジャズ応用演習Ⅰ	B	1				4	
	ジャズ応用演習Ⅱ	B		1				
	ジャズ応用演習Ⅲ	B			1			
	ジャズ応用演習Ⅳ	B				1		
コ ー ス 推 奨	ジャズ史Ⅰ	C	2				ピアノ、ドラムスは、履修を許可された者のみ履修可 ピアノ、ベース、ドラムスのみ	
	ジャズ史Ⅱ	C		2				
	ジャズ・ワークショップⅠ	B			1			
	ジャズ・ワークショップⅡ	B				1		
	ビッグバンドA	B	2					
	ビッグバンドB	B		2				
	ビッグバンドC	B			2			
	ビッグバンドD	B				2		
	ジャズ伴奏法Ⅰ	B			2			
	ジャズ伴奏法Ⅱ	B				2		

募集人数	若干名
出願資格	原則として、本学学部卒業見込みの者又は、本学学部卒業生。
募集楽器	ピアノ(若干名)、ギター、ベース、ドラムス、ヴィブラフォン、サクソフォーン、 トランペット、トロンボーン、その他の弦・管楽器
試験科目 及び 課題曲	(1)演奏試験 「課題曲一覧表」参照 (2)面接

※出願時、ジャズ・コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

アドヴァンスト・コース 募集要項

13 指揮者／コレペティートル・コース(指揮者)

教育目標 指揮コースは、指揮法、総譜奏法などを学ぶ。将来的に、オーケストラや合唱、吹奏楽等の色々な分野で活躍できるための基礎的な能力を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 最 低	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	指揮法／指揮伴奏法研究Ⅰ	B	2				8	コレペティートルと合同授業
	指揮法／指揮伴奏法研究Ⅱ	B		2				
	指揮法／指揮伴奏法研究Ⅲ	B			2			
	指揮法／指揮伴奏法研究Ⅳ	B				2		
	オーケストラ作品特別研究Ⅰ	A	2				8	
	オーケストラ作品特別研究Ⅱ	A		2				
	オーケストラ作品特別研究Ⅲ	A			2			
	オーケストラ作品特別研究Ⅳ	A				2		
	ピアノ実技AⅠ	A	1				8	45分の個人レッスン
	ピアノ実技AⅡ	A		1				
	ピアノ実技AⅢ	A			1			
	ピアノ実技AⅣ	A				1		
	弦管打実技BⅠ	B	1					本学弦管打楽器専修の卒業生は 選択科目 グループレッスン
	弦管打実技BⅡ	B		1				
	弦管打実技BⅢ	B			1			
	弦管打実技BⅣ	B				1		
	総譜奏法AⅠ	B	1				6	いずれか1種類を選択必修
	総譜奏法AⅡ	B		1				
	総譜奏法AⅢ	B			1			
	総譜奏法AⅣ	B				1		
	管弦楽法BⅠ	B	1					
	管弦楽法BⅡ	B		1				
	管弦楽法CⅠ	B	1					
	管弦楽法CⅡ	B		1				
コ ー ス 推 奨	キーボード・ハーモニー入門ABⅠ	B	1					
	キーボード・ハーモニー入門ABⅡ	B		1				
	キーボード・ハーモニー応用ABCDⅠ	B	1					
	キーボード・ハーモニー応用ABCDⅡ	B		1				

募集人数

若干名

出願資格

原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

**試験科目
及び
課題曲**

- (1) 専攻実技もしくはピアノ、声楽のいずれかによる演奏試験
(5～6分以内の自由曲)
- (2) ピアノによる簡単なスコア初見
- (3) 誤奏指摘テスト
- (4) 指揮をしながらのリズム音読

※出願時、指揮者／コレペティートル・コース(指揮者)を履修している者は、
原則として書類審査のみとする。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、
「オーケストラ作品特別研究Ⅳ」の評価B以上

アドヴァンスト・コース 募集要項

13 指揮者／コレペティートル・コース(コレペティートル)

教育目標 コレペティートル・コースは多くのオペラのレパートリーを知る。将来的に、オペラや伴奏等の色々な分野で活躍できるための基礎的な能力を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 最 低 数	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	指揮法／指揮伴奏法研究Ⅰ	B	2				8	指揮者と合同授業
	指揮法／指揮伴奏法研究Ⅱ	B		2				
	指揮法／指揮伴奏法研究Ⅲ	B			2			
	指揮法／指揮伴奏法研究Ⅳ	B				2		
	声楽作品特別研究Ⅰ	A	2				8	
	声楽作品特別研究Ⅱ	A		2				
	声楽作品特別研究Ⅲ	A			2			
	声楽作品特別研究Ⅳ	A				2		
	声楽実技BⅠ	B	1				8	30分の個人レッスン
	声楽実技BⅡ	B		1				
	声楽実技BⅢ	B			1			
	声楽実技BⅣ	B				1		
	ピアノ実技AⅠ	A	1				8	45分の個人レッスン
	ピアノ実技AⅡ	A		1				
	ピアノ実技AⅢ	A			1			
	ピアノ実技AⅣ	A				1		
	総譜奏法AⅠ	B	1				4	
	総譜奏法AⅡ	B		1				
	総譜奏法AⅢ	B			1			
	総譜奏法AⅣ	B				1		
	イタリア語ディクシオンⅠ	B	2				8	いずれか8単位を選択必修
	イタリア語ディクシオンⅡ	B		2				
	イタリア語ディクシオンⅢ	B			2			
	イタリア語ディクシオンⅣ	B				2		
	ドイツ語ディクシオンⅠ	B	2					
	ドイツ語ディクシオンⅡ	B		2				
	ドイツ語ディクシオンⅢ	B			2			
	ドイツ語ディクシオンⅣ	B				2		
	フランス語ディクシオンⅠ	B			2			
	フランス語ディクシオンⅡ	B				2		
コ ー ス 推 奨	キーボード・ハーモニー入門ABⅠ	B	1					
	キーボード・ハーモニー入門ABⅡ	B		1				
	キーボード・ハーモニー応用ABCDⅠ	B	1					
	キーボード・ハーモニー応用ABCDⅡ	B		1				

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、
「声楽作品特別研究Ⅳ」の評価B以上

募集人数 若干名

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目及び課題曲

(1) ピアノの演奏試験(5～6分以内の自由曲)
(2) ピアノ初見演奏
(3) 誤奏指摘テスト
(4) ピアノ弾き歌い(コンコーネ50番Op.9のNo.13、15、17、19より当日指定)

※ 出願時、指揮者／コレペティートル・コース(コレペティートル)を履修している者は、原則として書類審査のみとする。

アドヴァンスト・コース 募集要項

14 現代音楽創作コース

教育目標 今日にふさわしい独創的、先端的な作品を創作することを目指す。学内外での作品発表やコンクール出品などを、積極的に実践する。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 コ ー ス 単 位 最 低 数	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	ワークショップAⅠ	B	2				8	いずれか1種類を選択必修 (管弦楽法AⅠⅡ既修者を除く)
	ワークショップAⅡ	B		2				
	ワークショップBⅠ	B	2					
	ワークショップBⅡ	B		2				
	現代音楽ゼミⅠ	B	2				8	
	現代音楽ゼミⅡ	B		2				
	現代音楽ゼミⅢ	B			2			
	現代音楽ゼミⅣ	B				2		
	総譜奏法AⅠ	B	1				8(6)	
	総譜奏法AⅡ	B		1				
	現代音楽演奏実習Ⅰ	B			1			
	現代音楽演奏実習Ⅱ	B				1		
	管弦楽法BⅠ	B	1					
	管弦楽法BⅡ	B		1				
	管弦楽法CⅠ	B	1					
	管弦楽法CⅡ	B		1				
吹奏楽法Ⅰ	B	1						
吹奏楽法Ⅱ	B		1					
コ ー ス 推 奨	作曲実技Ⅰ	B	2					
	作曲実技Ⅱ	B		2				
	作曲実技Ⅲ	B			2			
	作曲実技Ⅳ	B				2		
	作曲特講A	B	2					
	作曲特講B	B	2					
	作曲特講C	B	2					
	作曲特講D	B	2					
	総譜奏法AⅢ	B	1					
	総譜奏法AⅣ	B		1				
	指揮法研究Ⅰ	B	1					
	指揮法研究Ⅱ	B		1				
	指揮法研究Ⅲ	B			1			
	指揮法研究Ⅳ	B				1		
	楽曲分析CⅠ	B	1					
	楽曲分析CⅡ	B		1				
	録音実習	B	1					

募集人数

若干名

出願資格

原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

**試験科目
及び
課題曲**

(1) 提出作品審査
(2) 作品についての面接

提出作品は2作品程度とし、譜面を出願期間内に提出すること。
また、可能であれば音源を共に提出することが望ましい。

提出先:教務課

譜面、音源共にデータ提出。ファイル名に氏名を入力し、
出願フォーム上で提出する。

※ 出願時、現代音楽創作コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、譜面及び演奏による作品審査、
「現代音楽ゼミⅣ」の評価B以上

アドヴァンスト・コース 募集要項

15 作曲理論コース

教育目標 バロックから21世紀までの作曲様式を学び、様々な様式に基づく作品・課題を創作する能力を高める。また指導法の研究を行い、音楽理論やソルフェージュのスペシャリストとして優れた指導者を目指す。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 コ ー ス 単 位 最 低	備 考	
			第 1	第 2	第 3	第 4			
コ ー ス 必 修	創作実習Ⅰ	B	2				8	いずれか1種類を選択必修 (管弦楽法AⅠⅡ既修者を除く)	
	創作実習Ⅱ	B		2					
	創作実習Ⅲ	B			2				
	創作実習Ⅳ	B				2			
	作曲理論ゼミⅠ	B	2				8		
	作曲理論ゼミⅡ	B		2					
	作曲理論ゼミⅢ	B			2				
	作曲理論ゼミⅣ	B				2			
	総譜奏法AⅠ	B	1				8 (6)		
	総譜奏法AⅡ	B		1					
	厳格対位法Ⅰ	B	1						
	厳格対位法Ⅱ	B		1					
	厳格対位法Ⅲ	B			1				
	厳格対位法Ⅳ	B				1			
	管弦楽法BⅠ	B	1						
	管弦楽法BⅡ	B		1					
	管弦楽法CⅠ	B	1						
	管弦楽法CⅡ	B		1					
コ ー ス 推 奨	作曲実技Ⅰ	B	2						
	作曲実技Ⅱ	B		2					
	作曲実技Ⅲ	B			2				
	作曲実技Ⅳ	B				2			
	総譜奏法AⅢ	B	1						
	総譜奏法AⅣ	B		1					
	指揮法研究Ⅰ	B	1						
	指揮法研究Ⅱ	B		1					
	指揮法研究Ⅲ	B			1				
	指揮法研究Ⅳ	B				1			
	選択ソルフェージュBⅠ	B	1						
	選択ソルフェージュBⅡ	B		1					
	選択ソルフェージュCⅠ	B	1						
	選択ソルフェージュCⅡ	B		1					
	選択ソルフェージュDⅠ	B	1						
	選択ソルフェージュDⅡ	B		1					
	選択ソルフェージュEⅠ	B	1						
	選択ソルフェージュEⅡ	B		1					
	楽曲分析CⅠ	B	1						
	楽曲分析CⅡ	B		1					

募集人数

若干名

出願資格

原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目及び課題曲

(1) 和声および対位法の筆記試験
(2) 面接

※ 出願時、作曲理論コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、作品提出(一曲以上の演奏を伴う)、「作曲理論ゼミⅣ」の評価B以上

アドヴァンスト・コース 募集要項

16 実用音楽コース

教育目標 映画音楽・ミュージカル等の作編曲に必要な、より実用的な技法、知識を学ぶ。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 コ ー ス 単 位 最 低	備 考	
			第 1	第 2	第 3	第 4			
コ ー ス 必 修	実用音楽研究Ⅰ	B	2				8	いずれか1種類を選択必修 (管弦楽法AⅠⅡ既修者を除く)	
	実用音楽研究Ⅱ	B		2					
	実用音楽研究Ⅲ	B			2				
	実用音楽研究Ⅳ	B				2			
	実用音楽ゼミⅠ	B	2				8		
	実用音楽ゼミⅡ	B		2					
	実用音楽ゼミⅢ	B			2				
	実用音楽ゼミⅣ	B				2			
	DAW演習A	B	2				12 (10)		
	DAW演習B	B		2					
	実用管弦楽法Ⅰ	B	1						
	実用管弦楽法Ⅱ	B		1					
	商業音楽概論A	C	2						
	商業音楽概論B	C	2						
	管弦楽法BⅠ	B	1						
	管弦楽法BⅡ	B		1					
	管弦楽法CⅠ	B	1						
	管弦楽法CⅡ	B		1					
	コ ー ス 推 奨	作曲実技Ⅰ	B	2					
作曲実技Ⅱ		B		2					
作曲実技Ⅲ		B			2				
作曲実技Ⅳ		B				2			
DTM演習Ⅰ		B			1				
DTM演習Ⅱ		B				1			
編曲法AⅠ		B	1						
編曲法AⅡ		B		1					
編曲法AⅢ		B			1				
編曲法AⅣ		B				1			
総譜奏法AⅠ		B	1						
総譜奏法AⅡ		B		1					
音楽応用ビジネスⅠ		C	2						
音楽応用ビジネスⅡ		C		2					
指揮法研究Ⅰ		B	1						
指揮法研究Ⅱ		B		1					
弦管打実技BⅠ		B	1						
弦管打実技BⅡ		B		1					
弦管打実技BⅢ		B			1				
弦管打実技BⅣ		B				1			

募集人数

若干名

出願資格

原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目
及び
課題曲

- (1) 提出作品審査
- (2) 書類(経歴書)審査 (本学卒業生・卒業見込生以外の出願者のみ)
- (3) 面接

提出作品は2作品程度とし、譜面を出願期間内に提出すること。
可能であれば音源を共に提出することが望ましい。
また自身の作曲・作品創作歴についての経歴書を提出すること。
日本語のみ。書式は自由。

提出先:教務課
譜面、音源、経歴書すべてデータ提出。
ファイル名に氏名を入力し、出願フォーム上で提出する。

※出願時、実用音楽コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、演奏による作品審査(実演又は録音、録画物)、
「実用音楽ゼミⅣ」の評価B以上

アドヴァンスト・コース 募集要項

17 作曲コース

教育目標 作曲のために必要な技法や知識を学び、さまざまな編成による想像力豊かな作品を書くための実践的能力を高める。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 コ ー ス 単 位 最 低	備 考	
			第 1	第 2	第 3	第 4			
コ ー ス 必 修	作曲実技Ⅰ	B	2				8	いずれか1種類を選択必修 いずれか1種類を選択必修	
	作曲実技Ⅱ	B		2					
	作曲実技Ⅲ	B			2				
	作曲実技Ⅳ	B				2			
	管弦楽法BⅠ	B	1				4		
	管弦楽法BⅡ	B		1					
	管弦楽法CⅠ	B	1						
	管弦楽法CⅡ	B		1					
	吹奏楽法Ⅰ	B	1						
	吹奏楽法Ⅱ	B		1					
	実用管弦楽法Ⅰ	B	1						
	実用管弦楽法Ⅱ	B		1					
コ ー ス 推 奨	ワークショップAⅠ	B	2				(総譜奏法) (総譜奏法)		
	ワークショップAⅡ	B		2					
	ワークショップBⅠ	B	2						
	ワークショップBⅡ	B		2					
	選択ソルフェージュFⅠ	B	1						
	選択ソルフェージュFⅡ	B		1					
	録音実習	B	1						
	DTM演習Ⅰ	B	1						
	DTM演習Ⅱ	B		1					
	声楽・合唱曲創作実習Ⅰ	B	1						
	声楽・合唱曲創作実習Ⅱ	B		1					
	編曲法BⅠ	B	1						
	編曲法BⅡ	B		1					
	編曲法BⅢ	B			1				
	編曲法BⅣ	B				1			
	アナリーゼⅠ	B	1						
	アナリーゼⅡ	B		1					
	アナリーゼⅢ	B			1				
	アナリーゼⅣ	B				1			
	厳格対位法Ⅰ	B	1						
	厳格対位法Ⅱ	B		1					
	厳格対位法Ⅲ	B			1				
	厳格対位法Ⅳ	B				1			
	指揮法研究Ⅰ	B	1						
	指揮法研究Ⅱ	B		1					
	指揮法研究Ⅲ	B			1				
	指揮法研究Ⅳ	B				1			

募集人数

若干名

出願資格

原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目
及び
課題曲

- (1) 提出作品審査
(2) 作品についての面接

提出作品は2作品程度とし、譜面を出願期間中に提出すること。
また、可能であれば音源を共に提出することが望ましい。

提出先:教務課
譜面、音源共にデータ提出。ファイル名に氏名を入力し、
出願フォーム上で提出する。

※出願時、作曲コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「作曲実技Ⅳ」の評価B以上

アドヴァンスト・コース 募集要項

18 コミュニティ音楽コース

教育目標 幼児・児童・生徒から高齢の人々にいたるまで、様々な人々を対象とし、地域コミュニティから広く社会において、アウトリーチ活動を含む音楽活動を、企画・推進する質の高いコミュニティ音楽家になるための知識・力量を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 最 低 数	備 考											
			第 1	第 2	第 3	第 4													
コ ー ス 必 修	コミュニティ音楽研究Ⅰ	B	2				8	音楽教育専修の専門ゼミ											
	コミュニティ音楽研究Ⅱ	B		2															
	コミュニティ音楽課題研究Ⅰ	B			2														
	コミュニティ音楽課題研究Ⅱ	B				2													
	専門ゼミⅠ	B	2				4		音楽教育専修の専門ゼミ										
	専門ゼミⅡ	B		2															
	文化政策論Ⅰ	C			2														
	文化政策論Ⅱ	C				2													
	指揮法研究Ⅰ	B	1				4			いずれか4単位を選択必修									
	指揮法研究Ⅱ	B		1															
	指揮法研究Ⅲ	B			1														
	指揮法研究Ⅳ	B				1													
	編曲法BⅠ	B	1								4	いずれか4単位を選択必修							
	編曲法BⅡ	B		1															
	編曲法BⅢ	B			1														
	編曲法BⅣ	B				1													
	ポピュラー音楽研究A	C	2										4	いずれか4単位を選択必修					
	ポピュラー音楽研究B	C	2																
	ポピュラー音楽研究C	C	2																
	ポピュラー音楽研究D	C	2																
	ポピュラー音楽研究E	C	2																
	ポピュラー音楽研究F	C	2																
	ジャズ入門	B				2													
	総合英語A	C	1												4	いずれか4単位を選択必修			
	総合英語B	C	1																
	総合英語C	C	1																
	総合英語D	C	1																
	総合英語E	C	1																
	総合英語F	C	1																
	総合英語G	C	1																
	総合英語H	C	1																
	日本語文章術A	C	2														4	いずれか4単位を選択必修	
	日本語文章術B	C	2																
	生涯学習	C	2																
	企業の組織と経営	C	2																
	日本の社会と経済	C	2																
	お金とくらし(生涯生活設計)	C	2																
	人間と文化A	C	2																
	人間と文化B	C	2																
	社会と福祉A	C	2																
	社会と福祉B	C	2																
	心のしくみA	C	2																
	心のしくみB	C	2																
推 奨 コ ー ス	専門ゼミⅢ	B				2		}											音楽教育専修の専門ゼミ
	専門ゼミⅣ	B				2													
	卒業研究					4													
	アーツ プロジェクトA	C	2																
	アーツ プロジェクトB	C		2															
	Music Cultures in Japan	C	2																
	即興演奏法Ⅰ	B	1																
	即興演奏法Ⅱ	B		1															
	合唱表現B	B	1																
	リトミックⅠ	B	1																
	リトミックⅡ	B		1															
	音楽療法講義Ⅰ	C	2																
	音楽療法講義Ⅱ	C		2															
	音楽療法講義Ⅲ	C			2														
	音楽療法講義Ⅳ	C				2													

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「コミュニティ音楽課題研究Ⅱ」の評価B以上

募集人数

若干名

出願資格

原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験

- (1) 小論文をあらかじめ提出する。
（様々な人々を対象にした、音楽活動に関する任意のテーマによる。
1200字程度。）
提出期限: 2025年9月19日(金) 16:30
提出先 : 出願期間内にデータを出願フォーム上で提出。
- (2) 面接

※ 出願時、コミュニティ音楽コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

アドヴァンスト・コース 募集要項

19 吹奏楽指導者コース

教育目標 学校教育やアマチュア吹奏楽団などの現場で広く求められている質の高い吹奏楽指導者になるための知識・力量を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 コ ー ス 単 位 最 低 数	備 考	
			第 1	第 2	第 3	第 4			
コ ー ス 必 修	吹奏楽指導研究Ⅰ	B	2				8	本学弦管打楽器専修の卒業生は 選択科目 グループレッスン	
	吹奏楽指導研究Ⅱ	B		2					
	吹奏楽課題研究Ⅰ	B			2				
	吹奏楽課題研究Ⅱ	B				2			
	弦管打実技BⅠ	B	1				4(0)		
	弦管打実技BⅡ	B		1					
	弦管打実技BⅢ	B			1				
	弦管打実技BⅣ	B				1			
	専門ゼミⅠ	B	2				4		音楽教育専修の専門ゼミ
	専門ゼミⅡ	B		2					
コ ー ス 推 奨	専門ゼミⅢ	B			2		音楽教育専修の専門ゼミ		
	専門ゼミⅣ	B				2			
	卒業研究					4			
	アーツ プロジェクトA	C	2						
	アーツ プロジェクトB	C		2					
	Music Cultures in Japan	C	2						
	吹奏楽Ⅰ	B	2						
	吹奏楽Ⅱ	B		2					
	吹奏楽Ⅲ	B			2				
	吹奏楽Ⅳ	B				2			
	編曲法BⅠ	B	1						
	編曲法BⅡ	B		1					
	編曲法BⅢ	B			1				
	編曲法BⅣ	B				1			
	指揮法研究Ⅰ	B	1						
	指揮法研究Ⅱ	B		1					
	指揮法研究Ⅲ	B			1				
	指揮法研究Ⅳ	B				1			
	生涯学習	C	2						

募集人数 若干名

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目及び課題曲

(1) 吹奏楽器(コントラバスを含む)の演奏試験。
任意の楽器で任意の楽曲(3分以内)。
但し、本学弦管打楽器専修(コントラバス、ハープ、フルート、オーボエ、
クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、
ユーフォニアム、チューバ、打楽器のいずれか)の卒業生および卒業見込の者は
免除。
(2) 面接(志願者全員)

※出願時、吹奏楽指導者コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

【出願上の注意】
※ 演奏試験で演奏した楽器が「弦管打実技B」で受講する楽器となります。
出願後は楽器の変更が認められませんのでご注意ください。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「吹奏楽課題研究Ⅱ」の評価B以上

アドヴァンスト・コース 募集要項

20 学校教育コース

教育目標 質の高い音楽科教員になるために、音楽科教育の研究を深めると同時に、より実践的な指導力を身に付ける。

授業科目		履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 最 低	備考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コース 必修	学校教育指導研究Ⅰ	B	2				11	教材研究 授業研究
	学校教育指導研究Ⅱ	B		2				
	学校教育課題研究Ⅰ	B			2			
	学校教育課題研究Ⅱ	B				2		
	学校教育専門演習A	B	1					
	学校教育専門演習B	B	1					
	学校教育専門演習C	B	1					
	専門ゼミⅠ	B	2				4	教育時事研究 音楽科指導特論
	専門ゼミⅡ	B		2				
	日本音楽史概説A	C	2				4	いずれか4単位を選択必修
	日本音楽史概説B	C	2					
	音楽民族学A	C	2					
	音楽民族学B	C	2					
	音楽民族学C	C	2					
	音楽民族学D	C	2					
コース 推奨	専門ゼミⅢ	B			2			音楽教育専修の専門ゼミ
	専門ゼミⅣ	B				2		
	卒業研究					4		
	アーツ プロジェクトA	C	2					
	アーツ プロジェクトB	C		2				
	Music Cultures in Japan	C	2					
	ポピュラー音楽研究A	C	2					
	ポピュラー音楽研究B	C	2					
	ポピュラー音楽研究C	C	2					
	ポピュラー音楽研究D	C	2					
	ポピュラー音楽研究E	C	2					
	ポピュラー音楽研究F	C	2					
	編曲法BⅠ	B	1					
	編曲法BⅡ	B		1				
	編曲法BⅢ	B			1			
	編曲法BⅣ	B				1		
	子どもの発達と心理	C	2					
	青年の発達と心理	C	2					

募集人数

若干名

出願資格

原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目
及び
課題曲

(1) 小論文:学校教育に関するテーマについて
(1000字程度。Webサイト内、アドヴァンスト・コースのページより小論文記入用紙をダウンロードし、用紙に掲載のテーマに沿ってデータを作成、出願フォーム上で提出する。)

提出期限:2025年9月19日(金) 16:30

(2) 面接

※出願時、学校教育コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「学校教育課題研究Ⅱ」の評価B以上

アドヴァンスト・コース 募集要項

21 ダルクローズ・リトミック専門コース

教育目標 聴覚と筋肉運動感覚を関連付けたダルクローズの創造的な音楽教育を専門的に学び、ダルクローズ・リトミックを演奏、教育に応用できる知識・力量を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 コ ー ス 最 低 単 位 数	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	身体表現研究Ⅰ	B	2				8	音楽教育専修の専門ゼミ
	身体表現研究Ⅱ	B		2				
	リトミック指導研究Ⅰ	B			2			
	リトミック指導研究Ⅱ	B				2		
	リトミック課題研究Ⅰ	B	2				8	
	リトミック課題研究Ⅱ	B		2				
	リトミック課題研究Ⅲ	B			2			
	リトミック課題研究Ⅳ	B				2		
	専門ゼミⅠ	B	2				4	
	専門ゼミⅡ	B		2				
コ ー ス 推 奨	専門ゼミⅢ	B			2		}	音楽教育専修の専門ゼミ
	専門ゼミⅣ	B				2		
	卒業研究					4		
	アーツ プロジェクトA	C	2					
	アーツ プロジェクトB	C		2				
	Music Cultures in Japan	C	2					
	リトミックⅢ	B	1					
	リトミックⅣ	B		1				
	ボディーテクニクⅠ	B	1					
	ボディーテクニクⅡ	B		1				
	ボディーテクニクⅢ	B			1			
	ボディーテクニクⅣ	B				1		
	即興演奏法Ⅰ	B	1					
	即興演奏法Ⅱ	B		1				
	モダンダンスⅠ	B	1					
	モダンダンスⅡ	B		1				
	ヒストリカルダンスⅠ	B	1					
	ヒストリカルダンスⅡ	B		1				
	演劇の世界A	C	2					
	演劇の世界B	C	2					
	人間と行動A	C	2					
	人間と行動B	C	2					
	音楽家のための心身論A	C	2					
	音楽家のための心身論B	C	2					

募集人数

若干名

出願資格

原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目
及び
課題曲

- (1) 動きの即興表現:聞こえてくる音楽を、身体の動きで表現する。
(2) ピアノの即興表現:複数のモチーフから1つを選び、即興演奏する。
形式は自由。(1分程度。)
(3) 即興唱:簡単なメロディーの応答
(4) 面接

※出願時、ダルクローズ・リトミック専門コースを履修している者は、
原則として書類審査のみとする。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「リトミック課題研究Ⅳ」の評価B以上

22 音楽療法士コース

募集人数 若干名

※日本音楽療法学会認定音楽療法士の受験資格、及びコース修了認定は、本学卒業生(平成16年度以降カリキュラム適用者)のみが得られる。なお、本学卒業生で平成12年度以降カリキュラム適用者も受験資格を得られる場合があるので、該当者は事前に教務課で確認すること。

※出願時、音楽療法士コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

日本音楽療法学会認定音楽療法士試験の受験資格を得るための科目

- (1)音楽美学
- (2)編曲法
- (3)キーボード・ハーモニー
- (4)厳格対位法、対位法
- (5)楽曲分析、アナリーゼ
- (6)鍵盤楽器講義(演奏解釈)
- (7)音楽教育講義A
- (8)コンピュータ音楽概論、コンピュータ応用講義、コンピュータ音楽創作
- (9)オペラ史、歌曲史、宗教音楽史、鍵盤音楽史、室内楽史、管弦楽史
- (10)作品研究
- (11)音楽民族学

[illegible]

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、音楽療法士の受験資格を有する者

アドヴァンスト・コース 募集要項

23 音楽学コース

教育目標 卒業論文の作成などを通して、音楽学の研究に必要な知識・力量を蓄える。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 最 低 数	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	専門ゼミⅠ	B	2				16	音楽情報専修の専門ゼミ (共同研究と発表会)
	専門ゼミⅡ	B		2				
	専門ゼミⅢ	B			2			音楽情報専修の専門ゼミ (卒業研究)
	専門ゼミⅣ	B				2		
	卒業研究					4		
	音楽情報研究法Ⅴ	B/2	1					総合ゼミ 「音楽情報研究法ⅠⅡⅢⅣ」を 修得していなくても履修可
	音楽情報研究法Ⅵ	B/2		1				
	音楽情報研究法Ⅶ	B/2			1			
	音楽情報研究法Ⅷ	B/2				1		
	音楽学入門	C	2				8	「音楽情報を読み解くⅠⅡ」を 修得していなくても履修可
	音楽情報を読み解くⅢ	C	2					
	音楽情報を読み解くⅣ	C		2				「音楽情報を発信するⅠⅡ」を 修得していなくても履修可
	音楽情報を発信するⅢ	C	2					
	音楽情報を発信するⅣ	C		2				いずれか8単位を選択必修
	音楽情報研究講義(西洋の音楽)	C	2					
	音楽情報研究講義(日本の音楽)	C	2					
	音楽情報研究講義(世界の音楽)	C	2					
	音楽情報研究講義(ポピュラー音楽)	C	2					
	原書講読(ドイツ語／フランス語／イタリア語／日本語／英語)Ⅰ	B	2					
	原書講読(ドイツ語／フランス語／イタリア語／日本語／英語)Ⅱ	B		2				

募集人数

若干名

出願資格

原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目
及び
課題曲

(1) 小論文(任意のテーマによる。8000字以上)
提出期限:2025年10月20日(月) 9:00
提出方法:データ提出。詳細は出願締め切り後、出願者に別途ご案内します。

(2) 面接
(面接試験は、小論文の提出者のみ受験可)

備考

※出願時、音楽学コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

※出願希望者はできるだけ、事前に本学音楽学コース担当の教員と相談しておくこと。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「専門ゼミⅣ」の評価A以上

アドヴァンスト・コース 募集要項

24 音楽情報・社会コース

教育目標 音楽に関する情報を扱うプロフェッショナルを養成する。音楽関連企業（出版、放送、レコード会社など）で働く編集者やライター、プロデューサー、ディレクターに必要な専門知識と実践能力を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 コ ー ス 単 位 最 低	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	音楽情報を発信するⅢ	C			2		14	「音楽情報を発信するⅠⅡ」を修得していなくても、履修可
	音楽情報を発信するⅣ	C				2		
	音楽情報の編集・加工Ⅰ	C	2					
	音楽情報の編集・加工Ⅱ	C		2				
	インターンシップ	B	2					
	専門ゼミⅠ	B	2					
	専門ゼミⅡ	B		2				
コ ー ス 推 奨	専門ゼミⅢ	B			2			音楽情報専修の専門ゼミ （卒業研究）
	専門ゼミⅣ	B				2		
	卒業研究					4		
	音楽情報研究法Ⅴ	B/2	1					総合ゼミ 「音楽情報研究法ⅠⅡⅢⅣ」を 修得していなくても履修可
	音楽情報研究法Ⅵ	B/2		1				
	音楽情報研究法Ⅶ	B/2			1			
	音楽情報研究法Ⅷ	B/2				1		
	文化政策論Ⅰ	C			2			
	文化政策論Ⅱ	C				2		
	アーツ・マネジメント概論Ⅰ	C	2					
	アーツ・マネジメント概論Ⅱ	C		2				

募集人数

若干名

出願資格

原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目及び課題曲

(1) エッセイ
(事前提出。出願締め切り後、試験日程発表と共にテーマおよび提出期限を告知する。)

(2) 面接

※出願時、音楽情報・社会コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

アドヴァンスト・コース 募集要項

25 マネージメント・コース

教育目標 幅広い音楽を学び音楽現場の経験を積むことを通して、音楽ホールの企画・運営や演奏団体でのマネージメントのできる基本的な知識・力量を身に付ける。

授業科目		履修費 ランク	セメスター				修得単 位最 数低	備考
			第1	第2	第3	第4		
コース 必修	マネージメント実習Ⅰ	B	2				14	
	マネージメント実習Ⅱ	B		2				
	マネージメント実習Ⅲ	B			2			
	マネージメント実習Ⅳ	B				2		
	アーツ・マネージメント概論Ⅰ	C	2					
	アーツ・マネージメント概論Ⅱ	C		2				
	インターンシップ	B	2					
コース 推奨	音楽情報を発信するⅢ	C	2					} 「音楽情報を発信するⅠⅡ」を 修得していなくても、履修可
	音楽情報を発信するⅣ	C		2				
	文化政策論Ⅰ	C			2			
	文化政策論Ⅱ	C				2		
	お金とくらし(生涯生活設計)	C	2					

募集人数

若干名

出願資格

原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目
及び
課題曲

(1) 小論文
※小論文の課題は、『音大生なら聴いておきたい100曲』と関連づけて
出題される可能性がある。『音大生なら聴いておきたい100曲』を聴いて
おくこと。(本学学生以外は、国立音楽大学のWebサイト内、アドヴァンスト・
コースに関するページを参照。)
試験当日はインターネットに繋ぐことができるパソコンまたはスマートフォンの
使用を認める。

(2) 面接

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

※出願時、マネージメント・コースを履修している者は、原則として書類審査
のみとする。

アドヴァンスト・コース 募集要項

26 音楽データサイエンス・コース 募集要項

教育目標 数理・データサイエンス・AI教育を軸とし、21世紀の情報社会をささえるデータサイエンスを学び、音楽情報のみならず情報産業一般の知識を身に付け、音楽データ配信企業、情報産業で活躍できる知識と技術を身に付ける。さらに演奏科学の視点を取り入れ、演奏を科学的かつ客観的に理解できる技術を身に付ける。

授業科目		履修費 ランク	セメスター				修得単位数 最低	備考
			第1	第2	第3	第4		
コース必修	音楽データサイエンス入門	B	2				10	
	音楽データサイエンス研究ゼミⅠ	B	2					
	音楽データサイエンス研究ゼミⅡ	B		2				
	音楽データサイエンス研究ゼミⅢ	B			2			
	音楽データサイエンス研究ゼミⅣ	B				2		
コース推奨	専門ゼミⅢ	B			2			音楽情報専修の専門ゼミ 「専門ゼミⅠⅡ」を修得していなくても履修可
	専門ゼミⅣ	B				2		
	卒業研究					4		
	インターンシップ	B		2				
	音楽情報研究法Ⅴ	B/2	1					総合ゼミ 「音楽情報研究法ⅠⅡⅢⅣ」を修得していなくても履修可
	音楽情報研究法Ⅵ	B/2		1				
	音楽情報研究法Ⅶ	B/2			1			
	音楽情報研究法Ⅷ	B/2				1		

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

募集人数

若干名

出願資格

原則として、本学学部卒業見込みの者又は、本学学部卒業生。

試験科目及び課題曲

(1)小論文
(音楽データサイエンスでの学びに対する抱負を2000字以内。
事前提出とする。提出期限は下記試験日の発表通知に掲載する。)

(2)適性検査
(パソコンを使った実習。ノートパソコンの持ち込み可。)

(3)面接

※出願時、音楽データサイエンス・コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

アドヴァンスト・コース 募集要項

27 西洋古楽コース

教育目標 バロック期の作品特有の楽譜の読み方、装飾などの演奏法の基礎を、アンサンブル・レッスンを通して学ぶ。その際、弦・管楽器や通奏低音のチェンバロで、バッハやヘンデルの作品をレパートリーにすることを目指す。さらに、文献研究の面からも、古楽に関する知識を深める。

授業科目		履修費 ランク	セメスター				修得単 位最 数低	備考
			第1	第2	第3	第4		
コース 必修	西洋古楽アンサンブルA	B	2				14	いずれか一種を選択必修 未履修分はコース推奨科目とする
	西洋古楽アンサンブルB	B		2				
	西洋古楽アンサンブルC	B			2			
	西洋古楽アンサンブルD	B				2		
	西洋古楽演奏研究(チェンバロ)Ⅰ	B	2					
	西洋古楽演奏研究(チェンバロ)Ⅱ	B		2				
	西洋古楽研究A	C	2					
	西洋古楽研究B	C	2					
コース 推奨	西洋古楽演奏研究(チェンバロ)Ⅲ	B			2			
	西洋古楽演奏研究(チェンバロ)Ⅳ	B				2		

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「西洋古楽アンサンブルD」の評価A以上

募集人数 若干名

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目及び課題曲

(1)演奏試験

○器楽(管楽器、弦楽器、鍵盤楽器)で受験する場合

イ) J.S.バッハやG.F.ヘンデル、G.P.テレマンなどバロック時代の作曲家によるソロ作品の中から1つまたは複数の楽章(計5分程度)

※ソロおよび伴奏に使える鍵盤楽器はチェンバロまたはピアノとする。

※管楽器と弦楽器については、現代楽器、古楽器(ピリオド楽器)のどちらを用いても構わない。

※暗譜は任意とする。

ロ)オーケストラ・スタディ

J.S.バッハの『クリスマスオラトリオ』(BWV 248)第1部第1曲の冒頭部分(33小節目まで)の自分のパートを演奏する(教務課でプリントを受け取ること)。チェロ、コントラバス、ファゴット、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロ、オルガンなどの通奏低音楽器はContinuoのパートを演奏すること。またリコーダーで受験する者のための別課題は上記のプリント参照のこと。

○声楽で受験する場合

C.モンテヴェルディ、A.スカルラッティ、G.F.ヘンデル、J.S.バッハなど、バロック時代の作曲家によるレチタティーヴォとアリア、またはアリアのみを1曲(5分以内)。

※伴奏楽器はチェンバロ、ピアノどちらでも構わない。暗譜は任意とする。

(2)通奏低音の基礎知識についての試問

教務課で配布する「数字付き低音」の説明プリント(A3判1枚、解答付き)を受け取り、試験当日までに課題に取り組み、答え合わせも済ませておくこと。

プリントの内容を基にした簡単な試問を行う。

※出願時、西洋古楽コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

アドヴァンスト・コース 募集要項

28 日本伝統音楽コース

教育目標 西洋の音楽文化とは異なる音のとらえ方、合奏の考え方を持つ日本の伝統的音楽文化を理解し、演奏能力を高め、日本の伝統楽器の演奏における専門家を目指す。

授業科目		履修費 ランク	セメスター				修得 単位 最低	備考
			第1	第2	第3	第4		
コース 必修	日本伝統音楽演奏研究(雅楽)Ⅰ	B	2				8	いずれか1種類を選択必修
	日本伝統音楽演奏研究(雅楽)Ⅱ	B		2				
	日本伝統音楽演奏研究(雅楽)Ⅲ	B			2			
	日本伝統音楽演奏研究(雅楽)Ⅳ	B				2		
	日本伝統音楽演奏研究(三味線)Ⅰ	B	2					
	日本伝統音楽演奏研究(三味線)Ⅱ	B		2				
	日本伝統音楽演奏研究(三味線)Ⅲ	B			2			
	日本伝統音楽演奏研究(三味線)Ⅳ	B				2		
	日本伝統音楽演奏研究(箏)Ⅰ	B	2					
	日本伝統音楽演奏研究(箏)Ⅱ	B		2				
	日本伝統音楽演奏研究(箏)Ⅲ	B			2			
	日本伝統音楽演奏研究(箏)Ⅳ	B				2		
	日本音楽史概説A	C	2				4	いずれか4単位を選択必修
	日本音楽史概説B	C	2					
	日本音楽(雅楽)A	C	2					
	日本音楽(雅楽)B	C	2					
	日本音楽(声明)A	C	2					
	日本音楽(声明)B	C	2					
	日本音楽(能楽)A	C	2					
	日本音楽(能楽)B	C	2					
	日本音楽(近世邦楽)A	C	2					
	日本音楽(近世邦楽)B	C	2					
コース 推奨	アジア音楽史A	C	2					
	アジア音楽史B	C	2					
	原書講読(日本語)Ⅰ	C	2					
	原書講読(日本語)Ⅱ	C		2				
	日本伝統音楽表現(囃子)Ⅰ	C	1					
	日本伝統音楽表現(囃子)Ⅱ	C		1				
	日本伝統音楽表現(囃子)Ⅲ	C			1			
	日本伝統音楽表現(囃子)Ⅳ	C				1		

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「日本伝統音楽演奏研究Ⅳ」の評価A以上

募集人数	若干名
出願資格	原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。
試験科目 及び 課題曲	雅楽、三味線、箏のいずれかの演奏試験 ・雅楽 「平調 越天楽」 ・三味線 「供奴」本調子足拍子合方、または「都鳥」前禅(いずれかを選択) ・箏 「六段の調」初段 ※出願時、日本伝統音楽コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

アドヴァンスト・コース 募集要項

29 ピアノ調律コース

教育目標 楽器学資料館の教育環境を生かして、鍵盤楽器の調律、整調、修理などの基礎技術を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 コ ー ス 単 位 最 低	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	鍵盤楽器調律実習Ⅰ	B	2				24	本学別科調律専修修了生を除く。
	鍵盤楽器調律実習Ⅱ	B		2				
	鍵盤楽器調律実習Ⅲ	B			2			
	鍵盤楽器調律実習Ⅳ	B				2		
	鍵盤楽器整調実習Ⅰ	B	2					
	鍵盤楽器整調実習Ⅱ	B		2				
	鍵盤楽器修理実習Ⅰ	B			2			
	鍵盤楽器修理実習Ⅱ	B				2		
	鍵盤楽器概論Ⅰ	C	2					
	鍵盤楽器概論Ⅱ	C		2				
	楽器・音響講義Ⅰ	C	2					
	楽器・音響講義Ⅱ	C		2				
コ ー ス 推 奨	鍵盤音楽史A	C	2					
	鍵盤音楽史B	C	2					
	音楽の科学A	C	2					
	音楽の科学B	C	2					
	音の科学A	C	2					
	音の科学B	C	2					

修了認定基準 コース必修科目の単位修得

※ピアノ調律コース修了または修了見込みの学生はピアノ技能検定3級学科試験受験資格を有する。

募集人数	若干名
出願資格	原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。 ※コースの授業には、土曜日を含む終日授業(9:00～17:00)が週2日あるため、それを考慮のうえ出願すること。
試験科目 及び 課題曲	適性試験(準備の必要はない) ※要筆記具 ※出願時、ピアノ調律コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

アドヴァンスト・コース 募集要項

30 幼児音楽指導者コース

教育目標 幼児・児童の初歩的および基本的な音楽指導のための力量を身に付ける。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 最 低 数	備 考			
			第 1	第 2	第 3	第 4					
コ ー ス 必 修	幼児音楽指導研究Ⅰ	B	2				8	いずれか1種類を選択必修 いずれも30分の個人レッスン			
	幼児音楽指導研究Ⅱ	B		2							
	幼児音楽課題研究Ⅰ	B			2						
	幼児音楽課題研究Ⅱ	B				2					
	声楽実技BⅠ	B	1				4		いずれか2単位以上を選択必修		
	声楽実技BⅡ	B		1							
	声楽実技BⅢ	B			1						
	声楽実技BⅣ	B				1					
	ピアノ実技BⅠ	B	1								
	ピアノ実技BⅡ	B		1							
	ピアノ実技BⅢ	B			1						
	ピアノ実技BⅣ	B				1					
	キーボード・ハーモニー入門AⅠ	B	1				2			いずれか2単位以上を選択必修	
	キーボード・ハーモニー入門AⅡ	B		1							
	キーボード・ハーモニー入門BⅠ	B	1								
	キーボード・ハーモニー入門BⅡ	B		1							
	キーボード・ハーモニー応用AⅠ	B	1								
	キーボード・ハーモニー応用AⅡ	B		1							
	キーボード・ハーモニー応用BⅠ	B	1								
	キーボード・ハーモニー応用BⅡ	B		1							
	キーボード・ハーモニー応用CⅠ	B	1								
	キーボード・ハーモニー応用CⅡ	B		1							
	音楽教育演習(リトミック)Ⅰ	B	1				2				いずれか2単位以上を選択必修
	音楽教育演習(リトミック)Ⅱ	B		1							
	日本音楽史概説A	C	2								
	日本音楽史概説B	C	2								
	音楽民族学A	C	2								
	音楽民族学B	C	2								
	音楽民族学C	C	2								
	ポピュラー音楽研究A	C	2								
	ポピュラー音楽研究B	C	2								
	ポピュラー音楽研究C	C	2								
	ポピュラー音楽研究D	C	2								
	ポピュラー音楽研究E	C	2								
	ポピュラー音楽研究F	C	2								

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「幼児音楽課題研究Ⅱ」の評価B以上

募集人数 若干名

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

試験科目及び課題曲

(1)子どもの歌の弾き歌い
(課題曲は出願後に発表・音声と弾き歌いしている写真を1枚提出)
(2)志望動機、コースでの学びをどう生かしたいか等を文章データで提出
(600～800字程度)。

※各種データ提出方法等詳細については、試験日発表通知を参照。
※出願時、幼児音楽指導者コースを履修している者は、原則として書類審査のみとする。

＜演奏曲の提出について＞

声楽コース、オペラ・ソリスト・コース、歌曲ソリスト・コースのみ

1. 作曲者名・曲名は原語で記入してください。
2. 受験曲目欄はそのまま試験時に提示されるので誤字・脱字のないようにしてください。
3. ツィクルスやオペラ、オラトリオからの選曲の場合は、曲の題名の他に、ツィクルス、オペラ、オラトリオの題名も必ず書いてください。
書き方は下の例を参考にしてください。
4. コースによって試験課題は異なります。各コースのページに記載の試験科目及び課題曲をご確認ください。

〈曲目の書き方の例〉

※歌曲ツィクルスからの歌曲の場合

- ・シューベルト作曲《白鳥の歌》から「戦士の予感」
→ F.Schubert / "Schwanengesang" Kriegers Ahnung

※単独歌曲の場合

- ・フォーレ作曲「月の光」
→ G.Fauré / Claire de lune

※オペラのアリアの場合

- ・ヴェルディ作曲《リゴレット》から「美しい御名」
→ G.Verdi / "Rigoletto" Caro nome che il mio cor

※オラトリオのアリアの場合

- ・J.S.バッハ作曲《ロ短調ミサ》から「アニヌス デイ」
→ J.S.Bach / "H-moll Messe" Agnus Dei

＜アドヴァンスト・コース 課題曲一覧＞

10. 弦管打楽器ソリスト・コース

- ・伴奏はピアノ伴奏のみとし、伴奏者は応募者が同伴すること。
- ・楽章の指定のないものは、その曲の全楽章を演奏すること。但し、試験当日に演奏楽章を指定したり、演奏を中断したりすることもある。

【ヴァイオリン】

(1)、(2) から各 1 曲の 2 曲を選び暗譜で演奏する。

(1) パガニーニ：24 の奇想曲 より 任意の 1 曲

(2) ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 61 より 第 1 楽章
(ヨアヒム又はクライスラーのカデンツァ)

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 35 より
第 1 楽章

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 77 より 第 1 楽章
(ヨアヒムのカデンツァ)

シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品 47 より 第 1 楽章

バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第 2 番 より 第 1 楽章

【ヴィオラ】

下記の 3 曲から任意の 1 曲を選び、暗譜で演奏する。

ブラームス：ヴィオラ・ソナタ ヘ短調 作品 120-1

ブラームス：ヴィオラ・ソナタ 変ホ長調 作品 120-2

ヒンデミット：ヴィオラ・ソナタ ヘ調 作品 11-4

【チェロ】

A、B 群からそれぞれ任意の 1 曲を選び、暗譜で演奏する。

[A 群]

J. S. バッハ：無伴奏チェロ組曲第 2 番～第 6 番より 任意のプレリュード

[B 群]

ハイドン：チェロ協奏曲 第 1 番 ハ長調より 第 1 楽章

ハイドン：チェロ協奏曲 第 2 番 ニ長調 作品 101 より 第 1 楽章

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 ロ短調 作品 104 より 第 1 楽章

シューマン：チェロ協奏曲 イ短調 作品 129 より 第 1 楽章

エルガー：チェロ協奏曲 ホ短調 作品 85 より 第 1・2 楽章

【コントラバス】

下記の3曲から任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

クーセヴィツキー：コントラバス協奏曲

ヴァンハル：コントラバス協奏曲

ディッターズドルフ：コントラバス協奏曲 ホ長調

【ハープ】

(1) を1曲及び(2) より1曲の計2曲を暗譜で演奏する。

(1) 5分程度の古典曲

(C. P. E. バッハ作曲『ソナタ』の1楽章、ヘンデル作曲『協奏曲』の1楽章、

J. S. バッハ作品のルニエ編あるいはグランジャンニー編等)

(2) ① フォーレ：アンプロンプチュ

② サルツェード：古代様式の主題による変奏

③ ルニエ：レジェンド

④ ダマーズ：シチリア変奏

⑤ ヒンデミット：ソナタ

⑥ グランジャンニー：ラプソディー

【フルート】

次の作曲家「T.ベーム」「J.ドゥメルスマン」「F.ドップラー」「M.A.ライヒェルト」
「P.タファネル」のうちから任意の伴奏付き作品1曲と自由曲（無伴奏も可）の2曲
を暗譜で演奏する。

【オーボエ】

次の課題曲(1)(2)(3)のうち任意の1曲と自由曲（無伴奏曲も可）の2曲を暗譜で
演奏する。

(1)デュティユー：ソナタ

(2)ポンキエッリ：カプリチヨ

(3)ドラティ：コンチェルタンテ

【クラリネット】

次の課題曲と自由曲（無伴奏曲も可）の2曲を暗譜で演奏する。

モーツァルト：クラリネット協奏曲 イ長調 K.622

【サクソフォーン】

次の課題曲と自由曲（無伴奏曲も可）の2曲を暗譜で演奏する。

グラズノフ：サクソフォーン協奏曲

【ファゴット】

次の課題曲(1)、(2)のうち任意の1曲と自由曲（無伴奏曲も可）の2曲を暗譜で演奏
する。

(1) モーツァルト：ファゴット協奏曲 変ロ長調 K.191

(2) ウェーバー：ファゴット協奏曲 ヘ長調 作品75

【ホルン】

次の課題曲(1)、(2)のうち任意の1曲と自由曲（無伴奏曲も可）の2曲を暗譜で演奏
する。

(1) モーツァルト：ホルン協奏曲 第4番 変ホ長調 K.495

(2) R.シュトラウス：ホルン協奏曲 第1番 変ホ長調

【トランペット】

次の課題曲と自由曲（無伴奏曲も可）の2曲を暗譜で演奏する。

J. ハイドン：トランペット協奏曲 変ホ長調

【トロンボーン】

次の課題曲と自由曲（無伴奏曲も可）の2曲を暗譜で演奏する。

テナートロンボーンの場合

ダヴィッド：小協奏曲 変ホ長調 第2楽章まで

バストロンボーンの場合

ダヴィッド：小協奏曲 変ロ長調 第2楽章まで

【ユーフォニアム】

次の課題曲と自由曲（無伴奏曲も可）の2曲を暗譜で演奏する。

J. ホロヴィッツ：協奏曲 (Novello)

【チューバ】

次の課題曲と自由曲（無伴奏曲も可）の2曲を暗譜で演奏する。

R.ヴォーン・ウィリアムズ：チューバ協奏曲 (Oxford University Press)

【打楽器】

次の課題曲（1）、（2）のいずれかと自由曲（無伴奏曲も可）を暗譜で演奏する。

（1）ジョリヴェ：打楽器とオーケストラのための協奏曲より第4楽章

（2）次の①②を両方演奏する。

①クレストン：マリンバとオーケストラのための協奏曲より第3楽章

②デルクルーズ：12のエチュード（小太鼓のための）

＊②は1～4の中から当日1曲指定。

＊②に限り暗譜は任意とする。

12. ジャズ・コース

- ・課題曲 1、課題曲 2 の2曲を演奏する。
- ・課題曲の譜面は、「ジャズ専修 入学試験課題曲集」を参照。「ジャズ専修 入学試験課題曲集」の入手に関しては、広報センター（042-535-9500直通）まで問い合わせ、各自入手すること。加えて、課題曲にSatin Dollが含まれる場合は、入試センター（042-535-9536直通）まで問い合わせること。
- ・試験で使用する音源の視聴については「ジャズ専修 入学試験課題曲集」を参照すること。「ジャズ専修 入学試験課題曲集」の入手に関しては、上記参照。

【ピアノ、サクソフォーン、トランペット、トロンボーン、ヴィブラフォン、その他の管・弦楽器】

課題曲 1

「ジャズ専修 入学試験課題曲集」より Billie' s Bounce

A B C は楽譜通りに演奏し、D E は即興演奏（楽譜通りに演奏してもよい）を行う。

（オーディオセットによる伴奏付きで演奏する。楽譜を見てもよい。）

ピアノ（P.2）, サクソフォーン（P.8,9）, トランペット（P.10）, トロンボーン（P.11）

※ヴィブラフォンはピアノの楽譜（P.2）を参照。その他の管・弦楽器はピアノ（P.2）又はサクソフォーン（P.9）, トランペット（P.10）, トロンボーン（P.11）の楽譜を参考に自身で用意する。

課題曲 2

Satin Doll

1コーラス目（A A B C）を楽譜通りに演奏した後、1コーラス（D D E F）～ 2コーラス即興演奏を行う。

（オーディオセットによる伴奏付きで演奏する。楽譜を見てもよい。）

ピアノ（譜例14）, サクソフォーン（譜例15, 16）, トランペット（譜例17）, トロンボーン（譜例18）

※ヴィブラフォンはピアノの楽譜（譜例14）を参照。その他の管・弦楽器はピアノ（譜例14）又はサクソフォーン（譜例16）, トランペット（譜例17）, トロンボーン（譜例18）の楽譜を参考に自身で用意する。

【ギター】

課題曲 1

「ジャズ専修 入学試験課題曲集」より Billie' s Bounce（P.7）

A は楽譜通りに演奏。B Cは即興演奏（ソロ）、D E はコードによる伴奏を行う。

（オーディオセットによる伴奏付きで演奏する。楽譜を見てもよい。）

課題曲 2

Satin Doll

1コーラス目（A A B C）を楽譜通りに演奏した後、1コーラス（D D E F）～ 2コーラス即興演奏を行う。

（オーディオセットによる伴奏付きで演奏する。楽譜を見てもよい。）

【ベース】

課題曲 1

「ジャズ専修 入学試験課題曲集」より Cool Struttin'（P.5）

楽譜通り、または書かれているリズムを参考にベースラインを演奏する。

（オーディオセットによる伴奏付きで演奏する。楽譜を見てもよい。）

課題曲 2

Satin Doll

2～3コーラス演奏する。

（オーディオセットによる伴奏付きで演奏する。楽譜を見てもよい。）

【ドラムス】

課題曲 1

「ジャズ専修 入学試験課題曲集」よりBillie' s Bounce（P.6）

書かれた楽譜を参考に演奏する。

（オーディオセットによる伴奏付きで演奏する。楽譜を見てもよい。）

課題曲 2

Satin Doll

2～3コーラス演奏する。

（オーディオセットによる伴奏付きで演奏する。楽譜を見てもよい。）